

WACATE Magazine Vol.19

✿ ご挨拶 ✿

大同団結!



こんにちは。WACATE-Magazine 編集部です♪
皆様のおかげで今夏も大盛況・大興奮で終了しました!

いつも思いますが、本当に皆さんの笑顔に
実行委員一同励まされております!

さてさて、報告・見える化というテーマに
がっぷり右四つで取り組んだ今回の WACATE2010 夏。
全体的にどんな本会であったのかを
大々的にレポートします!
WACATE-Magazine vol.19!! レディィーゴォォー!

✿ vol.19 のお品書き ✿

- p.01 ご挨拶/お品書き/WACATE TOPICS
- p.02 【特集 1】 WACATE 2010 Summer Report!!
- p.23 【特集 2】 "3-PICT" ウラ話。
- p.25 【コラム】 WACATE 2010 夏 Best Position Paper 賞受賞者記事
「半歩先を狙え! ベスポジ賞受賞への道程」
- p.28 【コラム】 ShortShortReport! 「WACATE ShortShort Vol.12 WACATE 2010 夏 前夜祭」
- p.29 【コラム】 ShortShortReport! 「熱い二日間を打ち上げよう! WACATE 2010 夏 後夜祭」
- p.31 【リレーコラム】 ワカテにきく。
- p.32 【トピックス】 SoftwareTestTopics
- p.33 【連載】 池田暁の「ミュージカルに恋して」
- p.34 【不定期連載】 コヤママンまーくの「補給戦線異状なし!」
- p.35 【不定期連載】 日々撮影
- p.37 【連載】 今月の STAR★
- p.38 【連載】 源太郎の「開運ソフトウェアテスト占い」
- p.39 お知らせ/編集後記/おくづけ

✿ WACATE TOPICS ✿

[News] 6/12~13、マホロバ・マインズ三浦にて WACATE 2010 夏を取行してきました!!!!
皆様のおかげで無事開催ができ、参加者の皆様楽しんでいただけたことを深く感謝いたします!!

WACATE 2010 Summer Report!

—アツい想いを伝えたい—

WACATE-Magazine をご覧の皆様、こんにちは。
WACATE-Magazine 編集部です♪
さてさて。愛と笑いの我らがソフトウェアテストワークショップ™ WACATE 2010 夏™ が、さる6/12~13に開催されました!!

今回もテンションを上げてお送りいたします!
それでは… WACATE 2010 夏レポートオ!
レディィー——ゴオオオオ——!!!

◆◆◆ 6月11日(金) ◆◆◆

◆前日準備!

夜の三浦海岸に前日から WACATE 実行委員達が集結し、挑戦者参加者たちを迎え撃つ準備をしていました!隣の部屋が前夜祭で盛り上がりつつある中、実行委員前日準備隊は肅々と準備を…。

箱に謎の言葉が書いてあるのは気のせいですw
大活躍のプリンタ君と、怪しい備品の箱!一体なんの準備なのやら…w



嵐の前の静けさというか、笑顔がありながらも程よい緊張感がありました。

◆◆◆ 6月12日(土) ◆◆◆

◆受付開始!

夜が明け、いざ当日!! 続々と参加者がやってきます!



まだまだ表情が硬いですね。緊張しているのか、手元の資料を読んでいます。最初は誰でも緊張するものですよね。初対面ですし…

◆オープニング!

担当: 山崎 崇 (WACATE 実行委員会)

緊張感が漂う中、総合司会の奥村さんから WACATE 2010 夏の開始が告げられました。実行委員長の挨拶で始まり、とうとう最初のセッションの開始です。

緊張している参加者をあざ笑うかのように登壇するアフロ。

そう、我らがスター★やまさきですw

参加者へ心構えや注意点などを雑談や世間話などを交えながら(アフロを揺らしながら)お話しします。

アフロはアイスブレイクのため、なんですよね。(たぶん)け、決してアフロかぶりたいたわけじゃないんだからねっ!



スター★のおかげでいづらか緊張がほぐれた…はずですw

◆ポジペセッション!

担当: 加文字 論 (WACATE 実行委員会)

続いて恒例のポジペセッション開始。登場したのは WACATE 実行委員きってのワカテ。

“ありえない学生”から“ありえない新入社員”となった、カモニー。

ポジペセッションのモデレータは初体験です。



まだ緊張感の残る参加者をゴールデンアフロをし
れっと装着(継承)し、これでもかと煽ります。



この堂々たる雄姿！w

「ご唱和ください！ポ・ジ・ペ・ダー！」



いくらか緊張感の残る参加者を熱気に包みます。

すっかりリラックス？したところで、「ポジペ
セッション」の始まりです。

参加する前に提出した各々のポジションペー
パーを武器に、自己紹介を行います。

初対面の方に自分を理解してもらう、自分の立
場・想いを告げる。これがやっぱり緊張するのです
が、いくらか緊張がほぐれてくると時間が足りな
かったり、時間が余ってネタに走ったり、色々な個性
が見られるようになります。



ごこちないながらも笑顔が生まれはじめます。

セッションの終盤にはすっかり打ち解け、自然に
笑顔が生まれるようになります。

席替えをした後は、二日間のワークを共にする仲
間とご対面。



程よい緊張感と頼もしい仲間との二日間が本格
的に始まります。

◆報告は〇〇〇〇〇への××××！

担当：近江 久美子(WACATE 実行委員会)

WACATEの夏といえばがっつりグループワーク！
その前の導入セッションです。

最初の質問「報告書を書いたことがあるか」と、
次の質問「今までに書いた/読んだ報告書にいいな、
改善点がある、今一つだなどと思ったことがある」に
はほぼ全員が挙手。結構みなさん新人の頃から何か
と報告し、わかりづらい！あいつの参考にしてみろ
なんて言われたことあるのではないのでしょうか。

最後の質問「今まで1回でも自信を持って出せる
報告書を書いたことがあるか」これには激減してた
ったの3名となりました。どんなものなのでしょう。
気になる・・・。

報告書って何でしょう？報告書は何故必要なの
でしょう？

このセッション内では随所に「30秒考えてみま
しょう」がありました。最初に報告を考えたのはき
っと新人の頃、その次は？

報告書、つまり何かの見える化には目的がありま
す。ここでタイトルが公開されます。

「報告書は特定の相手への見える化。」

セッション前半では見える化と目的。後半では手
順例について説明がありました。



- 1: 相手と目的を確認する 何をどう報告するか
- 2: 必要なデータを洗い出し、集める どんなメトリクス、定性データが必要か
- 3: 見やすくする 用語の選択、グラフなどの活用
- 4: タイミングを見計らって提出する 時期も重要

手順は色々あると思います。大事なのは各手順で報告の相手と目的を意識すること。…忘れがちですよ。

あらためて意識付けをしたところでグループワークに突入です！

◆テストにおける報告ワークショップ！ 担当：村上 くにお (WACATE 実行委員会)



とうとう始まりました、WACATEの夏メインセッション。今年のもデレータは副実行委員長の村上さん。前回は線マニアとして参加者にインパクトを与えた我らがアニキが皆さんをエスコートします。

■導入

「GQMを知ってる人、使ってる人」うーん、あまり浸透していない感じですね。参加者の立場は様々ですが、視野を広げてソフトウェア開発全体のために考えて欲しいというメッセージがありました。

■午前中！チームビルド

今回はチーム名決定を昼休みでしましょう！とこれまでのWACATEの反省を踏まえたお達しがありました。考え出すとそっちのけではまってしまうのですよね～

◆STEP0：ワークショップの前提の説明。

ワークショップの前提、背景の説明です。チームは決まった。メンツも割れた。で、なんでたち集められたの？というところの説明ですね。いろいろと説明がありましたけど…

やまさき本部長が報告書を見た

↓

なんじゃこりゃああああ！！

↓

改善案を考えよう！

…ざっくり説明するとこんな感じですw

さあ、どっぷりワークに浸かっていただきますよう！

◆STEP1：チームビルディング。

各チームともにTL, STLはあっさり決まった模様。スタンドアップミーティングをするチーム、付箋でまとめるチームなど進め方はもう最初の段階から異なります。

みなさんほんとうに楽しそうに進めているのがこちらも嬉しいです。



皆さんとても集中しています。

◆STEP2 …その前に



GQMのおさらいです。WACATE2009 冬では「コメント率」というメトリクス(M)からQ→Gと進めていきました。

「コメント率」というたった1つのメトリクスに大盛り上がりなWACATE 冬の様子は過去のmagazineをぜひ読んでくださいね！

現場であれば報告の元ネタ、上層部であればマネジメントといったように**役割立場によってメトリクス作成の動機は異なってきます。**

その項目を測ることによって何が見えるでしょうか。伝えたいことは何でしょうか。

◆STEP2：現状の把握



さて個人ワークです。

みなさん作業に集中して、静まり返っています。付箋に書いている人がほとんど。マインドマップもちらほら。

個人ワークが終わればグループ情報共有、個人で考えたことの情報共有のためチーム内での発表です。

1人2分間発表。指摘の少ない人から発表していききました。

- ・全体がわからない
- ・報告事項によって遅れが出ているのかなのかわからない
- ・件数？
- ・どのような試験をしているのかわからない
- ・問題点の粒度
- ・修正点？

全体的にわからないよ！の主張大会でした

そして共有できたことをチームでまとめます。各チームともに集められた付箋などを使って意見をグルーピングして整理しています。



◆STEP3：報告書の目的定義

全体でどうなっているのか、実績予定、先週と今週の予定の比較、バグの状態、オンスケなのか、完了状態、テストゴール etc..

引き続き熱い議論が繰り広げられていました。気付いたら多くの参加者が立って議論していました。熱さがうかがえますね！楽しそう。



- ・このPRJはQCDのどれが優先なの？
 - ・これがわからないと報告できない。
- また定量、可視化に重点を置きすぎるとわからなくなる。そんなアドバイスもされていました。



たまには皆でストレッチ！

◆STEP4：報告書の取得情報定義

目的から導き出した「条件(質問事項)」が決まったところで、次は「その「条件(質問事項)」の内容を満たすためには、どのような情報(メトリクス・計測指標)が必要なのか？」を考えます。

G(目的)→Q(質問事項)→M(メトリクス)ですね。

問題意識を更にすり合わせ、ゴールに向かって参加者は突き進みます。

さまざまな議論が生まれては消え、同じゴールに向かって前向きに議論する様子は、本当に感動します。

そして、合意が出来たら報告！とゆーワケで一本締め！

よお〜……ポンッ！



◆STEP5：結果取りまとめ

そして、一日の最後には今日一日の成果を振り返ってみて、個人でまずまとめを行い、そのあとにチームでまとめます。

ディナーまでの持ち時間をそれぞれがギリギリまで使ってミーティング。

時間になったところで村上課長から労いの言葉とともに「飲みに行くぞ！」と。

午前中から取り組んだワークはここで一旦終了です！



さぁ温泉だメシだビールだッ！！！！

■オマケメモ1。

デバイス

- ・ポメラ
- ・iPad 手に入れるのはや！！！（この時点では）
- ・iPhone 圧倒的多数つええ
- ・ノートPC 多数
- ・xperia 私と奥村さんだけ

■オマケメモ2。

8班は★(スター)やらミッオーの付箋を使っていました。たとえ重い話だとしてもなんだかほんわかしているように見えてこれはひょっとして何かテクニックなのかなとか思ったり。



一部始終をご覧になった野中先生がとても良い表情で参加者の皆さんを見ていたのが印象的でした。



◆ディナーセッション！

担当：池田 暁(日立情報通信エンジニアリング㈱)
ジャズミン♪(WACATE 実行委員会)

ゲスト：バンド”3-PICT”の皆さん

一日のセッションの疲れを癒すのは、三浦海岸の海の幸とビール！そして小気味よいトーク。

WACATE 名物ディナーセッションの始まりです。

クロージングセッションの担当、湯本さんから乾杯の音頭をいただき、労いの言葉をかけていただきました。実行委員募集中★のタスキをかけたイケメンメがネこと加瀬さんがビールを片手に参加者に挨拶まわり！



濃ゆい一日を過ごした参加者達は温泉で一日の疲れを流し、目の前にした料理に舌鼓を打ちます。すっかり打ち解け、至るところで笑顔や世間話、議論に花が咲いていました。



いえーい！



イヤッホオオウ！

皆さん、とても良い笑顔ですね♪
一日の楽しさが伝わってきます。
初参加の方がこれだけ笑顔になってくれるというのは、よっぽど良い経験をされたのですね^^

…と、しばらくするとステージに腰掛ける一組のカップルがw

…実行委員長とジャズミン♪ですね。

ココからがWACATE 名物「ディナーセッション」の本番。

「あきらとジャズミン♪の
オールナイトオッポン！」

懐かしのBGMと小気味のよいトークと脚線美wで参加者のコメントをいじります。



そしてジャズミン♪の脚線美に魅せられた女性ファンの皆さんが、なんと自作のウチワを…！



コレにはジャズミン♪本人もビックリしていましたw

オールナイトオッポンでは参加者のWACATEへの意気込みと、WACATEに参加した後のコメントをたくさん紹介いたしました。

そして余興として、WACATE 実行委員と WACATE 参加者、さらにゲストの湯本さん、細川さんにて結成したバンド「3-PICT」の生演奏が！



3曲の曲を演奏し、参加者を魅了しました。最後にはライブさながらの盛り上がりを見せました！

今回のディナーセッションは「見たい！魅せたい！魅せられたい！」と題しましたが、その名の通り参加者を魅せたセッションとなりました。

まだまだ続くディナーセッション。セッションの最後には抽選会もありました！

「じゃーんけーんぼんっ！」



セッションを終えた参加者達は、まだまだ語り足らず、分科会にそのままのテンションで流れ込みます！

◆分科会！

テーマ毎に分かれて語られる分科会です。今回は事前に実行委員側で用意したテーマを用意し、参加者達とたくさんのお話をしました。

テーマは以下のテーマがありました。

・WACATE 参加 Before/After !

担当：加文字 諭、遠藤 斉明



WACATEに参加する前とした後での自分の中の変化について、経験者、初参加者がお酒を片手に熱く語りました。

・語ってみよう！テスト設計！

担当：奥村 健二



最初はテスト設計の話をしていたのですが、いつの間にかやら違う方向に…w 詳しくは参加者の皆さんにお聞きください！w

・テスト技法好き、この指と一まれっ！

担当：加瀬 正樹、近江 久美子



なんと加瀬さんがテキストを持参して、ワークショップさながらに各人が問題に取り組みます。解いたらどう技法を使って解いたのかを解説していました。色々な人の技法の使い方に触れ、新たな気づきを得たかと思います。

・WACATE を活用しよう！

担当：池田 暁、坂 静香



池田さんと野中先生を中心に池田さんの熱い想い、社外活動への取り組みなどを中心にお話をされていました。

なんでも裏では分科会が終わった後も議論がされていたとか…。

とにかくテスト話で酒を飲む、正にテスト漬けの一日を過ごし、一日目の夜は更けていきました…。

◆◆◆ 6月13日(日) ◆◆◆

◆朝！

濃ゆいワークのあとに温泉、ディナー&分科会という時間を共有したメンバーはすっかり仲良しでこの笑顔！一日目がキツかっただけに、笑顔が輝いています！今日も一日頑張るぞ！という力に満ち溢れていますね。



今日も一日頑張るぞー！



朝から元気ですっ！

◆BPP セッション！

「この半年で学んだリスクベーステスト」

WACATE の心を持つ 永田 敦氏



2日目朝一番のセッションは、前回のBPP受賞者、”WACATEの心を持つ”永田さんです。

リスクを「見える化」し、ステークホルダと合意を取る。これがなかなか難しいんですよ…。

「これだけリスクが残っている」という方がわかりやすい」という言葉が印象的でした。これも「見える化」ですよ。

学んだ「見える化」のことをWACATEの場で「見える化」する、というとても素晴らしいセッションでした。

◆STEP6：ワークショップ発表準備！



みなさん、分科会の後は眠れたのでしょうか。

12時に寝た人→ぼちぼち

1時に寝た人→ぼちぼち

2時以降に寝た人→さすがに誰もいん…ちょw
ゲストのみなさまwww

ということで「ワークのまとめ作業」です。



「一言でいうとどんな報告書になりましたか」

「本部長への伝達(実際の成果物)」

というのがアジェンダとなります。「一言でいうと～」というのはこれまでのWACATEの発表では強制していませんでした。過去のWACATEでは参加者にまかせていたのですが、これがあるチームは発表が締まっていたんですね。どうなりますか、発表が楽しみです。

まとめ中は恒例の「腕っこきコンサルタント」始動！



今回は机にアヒルが置かれていきます。疲れたみなさんの癒しグッズ・・・というわけではなく、これにはちゃんと意味があったのです。自分たちがせっかく作ったものに矛盾がないかなど客観性を確認するためにアヒルに話しかけると良いとか？！

第三者に話しかけることで訴求力があるかを客観的に確認するための手段だったのです。誰でも簡単に出来るけど誰もがやっていなかったちょっとしたアイデアをポンポン出すのが「腕っこきコンサルタント」。これはいいですね。

職場ではこっそり話しかけましょう。「腕っこきコンサルタント」からは「キレイにまとめようとしていないか？」と釘もさされつつ、各チーム大盛り上がりで次のセッションギリギリまで行われました。というか終わる気配無し・・・。



なかなか余裕を見せていますね！

◆ゲストセッション！

「fault-prone モジュール予測の研究動向と

テスト戦略」

東洋大学 野中 誠先生



皆さんがまとめをほどほどに終わったところで、ゲストとして参加して下さった野中先生の講義がありました。

fault-prone モジュール予測。

簡単に書くと・・・(私が要約してしまっているのかという思いもありますが。。) 全てに欠陥があるかというところではない。均等でない。

欠陥の約60-80%は約20%のモジュールに存在する。品質の早期確定のためまずどこに着目するのか。といった研究です。

普段論文も見慣れない人も多いかと思いますが、「現場にフィードバックできない研究論文ではしようがない」という野中先生の言葉もあり、みなさん真剣に聞きこんでいました。

fault-prone モジュール予測の分析手順がわかった気になる。というコメントが最初にありましたが、みなさんいかがでしたでしょうか。

難しい・・・が、理解せねば！！と思った人は私だけではないはず。

講義の最後には、メトリクスにのめり込みすぎないようにと警鐘も。

例えば集めた情報を扱うのに数学的な美しさを求めるなどしてしまうなど、本来のゴールを見失っていませんか？と。

「正確に誤るよりも、漠然と正しくありたい」

これは野中先生の自戒も兼ねた経済学者ケインズの言葉だそうです。…うーん深い。

野中先生ありがとうございました！

◆昼休み！

今回は昼休み両日とも、ManiaXの頒布をしました！毎回作ったら持ってきてるのですよ！w



著者のゆもつよさんのご好意でサインをいただいたりなど、WACATE当日での頒布には現地特典が付いております！w

その他、昼休みには野中先生のセッションに感動した参加者からサインを依頼される野中先生の姿もありました^^



あの講義を聞いた方は、この気持ちがよくわかりますよね。

◆STEP7：本部長への報告(成果発表)

さーて！午後はいよいよ各班の発表です！

講評をしてくださるのは、湯本さん、細川さん、野中さんの豪華メンバーですぞ！！みんな、覚悟はいいかー！w

今回は資料を表示するまでの「つなぎ」を各班のリーダーが行いました。まあ実に個性派揃いで楽しいつなぎでしたwww

え？あ^^；発表？発表も各班特色が出て面白かったです。

ところで、今回のリーダーは初参加の方が多かったのですが、なぜか初参加らしくない。とても堂々としていて、しっかり場を盛り上げるころはととても頼もしく立派でした。もちろん参加経験のあるリーダーはしっかりしていましたよ！

少々厳しい指摘もありましたが、ワークショップは失敗してナンボ、指摘されてナンボです！！指摘をいただけるほうがラッキーなんですよ♪

■1班

が・日本征服チーム～北から南から～



昨年優勝班のリーダー田中さん登場！

今回も「奄美一ず」でやりたい、と言ったが却下されたっ(涙 今回北海道からのメンバーもいるし。…ということで上記チーム名にw

でも今回も奄美大島の宣伝はばっちり行いました☆

資料が出来あがってない；(焦)ので、半分しゃべり+あとは皆さんの妄想で♪

□「本部長!!ご決断をm(_ _)m」

本部長に決断をさせようとする報告

現状の報告書から何を本部長に伝えたいか？を考えた。残業大変とか、大変そうなのを伝えたい(報告により決断してもらえるように)。

メトリクスとしては

①テスト計画と実績

②バグ発生状況

③予想バグ発生数、閾値

(対予想実績が上下閾値内に収まっているか)

□講評：湯本さん

リーダーがところどころで笑いをとろうとして滑る点が…www

目的が大事というわりに目的を記述しているところが無いので、目的から話が繋がっている、というところが見えると良かったのでは？

議論に時間をかけすぎた点

その結果、GQMを出すにあたってどういう話をしたか？という話があると、もっと良かったのでは？

□講評：細川さん

コンパクトにまとめてある。

自分たちで想定しなかった範囲ってある？(突っ込まれたらやばい、というところ)あひる部長と会話を話した？

あ、温度が下がってきちゃった^^；えーと、地球をゆるがすほどうまくプレゼンできたんですけど^^ (爆笑)

ももとの狙いがやばいことだけ言ってない？やばいからどうしたらよいということまで言おう。測ることだけでは、人は動かない！

伝え方と伝える内容、両方大事。自信をもって測る、安心する。

■2班

ハワイアンチーム



発表は井芹さん。何と発表中に地震が発生！しかし本人は「あ・・・地震」と、いたって冷静。地球も興味津津で反応したわけですねwww

□「やばいの？やばくないの？」

～やばいならどうしてほしいの？～

1枚目はお約束のサマリ。

サマリ報告に「やばい」とか「やばくない」とかを記載。

2枚目が問題点とその影響や改善要求を、部長にわかるように記載。

メトリクスとして

①テストケース消化状況

②バグ発生状況

伝えたい点を黄色い四角で強調して記載。

■3班

チーム昆布巻き



昆布巻きっていったら鮭を巻いた・・・新潟名物w昆布巻きのように味のあるチームが登場！

リーダーは新潟在住の池田さん

「一番リーダーらしくない私がリーダーなんですけどお…」なんてちょっと謙虚な一言を発していましたが、なんのなんの、堂々とした発表ぶりでした。「メンバーに任せることもリーダーの役割」という気づきがとても印象的でした。

□「昆布巻き！」

・・・どうしてこうなった?!に、同じく新潟出身深沢さんが解説。鮭とあらを2日間煮込むところから、「テストも手間暇惜しむな！」

メトリクス

①テストの実施率

進捗はよい。しかし大丈夫か？というところ・・・そうではなく

②障害状況

影響度の高いバグに対して注目。結果 78%=障害対応遅れ気味。

3枚目がその他トピック

対応状況を一覧表にした。

リスクに対する対応率を表にする。

結果対応率 60%これにより、危ないことが見える

4枚目で総論を記載

進捗状況はこのままでよいが、障害状況、リスク状況がマズイ。

・工夫した点

メンバースキル可視化→立体的に表示。

・うまくいかなかった点

GQMのつながりをうまく示せなかった

意見のぶつかり合いがなかった。もうすこし議論になってもよかったのでは？

メンバー全員感想を話せました！時間ぴったり！！

□講評：野中さん

私が本部長だとして・・・

「なにがしてほしいくてこの報告をしたのですか？」
(・・・一瞬しんとなりました。すごいですっ！
核心をついてきました！)

「えーっと、な、なにといえますと・・・」

ちょっとびっくりしたリーダー(でもその後一つ一つの質問に自分なりに意見を返していました。こちらもすごい！)

本部長の権限をもって何かをしてほしかったとか・・・どんな意図があったの？「本部長、おまえ何とかしろっ！」ていうことを言いたくて伝えたの？メトリクスやリスクをどう読み取るかは、本部長が判断しろと・・・

いや、決まっていじめているわけではないのですけれど^^;;

(思わず村上課長が間に入り盾となりましたwww)



事実に関してはチームを信用するしかない。事実を克明に伝えたあとで、提案をしてほしい。この人になんをしてほしいか、を書くともっとよくなる。

■4班

怪盗 うさぎ団。 チーム



「みなさんこんにちはっ!!!」

とても元気な第一声を放ったリーダーは永井さん

WACATEのCをKと書いたのは僕です！湯本さんの握手を拒否したのも僕です！！w

三浦海岸の駅でPCを拾ったのも僕です！！

(PCを落としたのは偶然にも同室だった参加者Mさん。「僕そのPC見ました！」落し物として預けられていたのが、翌朝無事本人の手元に戻ったそうで。PC落とす人っているんですねwww)

怪盗うさぎ団の由来は

うさぎを飼ってる(飼ってた)人の集団w

□「おもいやり ほうこく しょ」

おもいやりを持った報告がしたい。という思いから。

まずは表紙に報告書の目的を記載。

QCDのうち

Qを確保するために

テスト消化曲線と予測線

バグの予測実績表(重要度別)

重要度別バグ残件表

Dを確保するために

テスト消化曲線と予測線

のメトリクスで示す。

メトリクスから分かることをそれぞれ記載。

報告(発表)をしたのはメトリクスごとに3名。

うまくいかなかったこと、いかなかったこと、の記述は無く^^;;口頭でフォロー。

・メトリクスをうまく組み合わせた

・今後どうすればよいか？遅れの原因がわかればよい、w

・いろんな人のいろんな意見が聞けてよかった

□講評：湯本さん

笑いがとれて良かった(1班と違って)www

この報告書でなにを話したいか？を一枚目に持ってきているのは良かった。

雰囲気的に問題ない、ということ伝えてなかったんだと思う。問題だったら問題、問題ないなら問題ない、とはっきりいうと更にいいかも。

■5班
_チーム



リーダーはとても大人な石井さん。

20代が彼ひとりって、え？「誰ですか？いま「見えない」っていったのは？」※「見えない」じゃなくて「一番見えない」ww

夢のなかで_(アンダーバー)がでてきたので、この名前。間違えたわけじゃないですw

□「体制管理」

管理体制がなってない！！計画に対する結果の確認に、かなりの難がある。

このチームの資料は、報告書の案ではなく、改善プレゼン資料として4枚のスライドが構成されていました。

①現状の把握

②改善すべき状況

メトリクスとして、

NG回数/総テスト回数

バグ確認対応工数

③追加すべき情報

メトリクスとして

実施テストケース/稼働時間

進捗率、不具合発見率、修正済不具合数、など

そもそも時間考えてる??社内システムに金か

けてもねえ・・・

④意識改革

報告書である、という意味を持たせる

チームMtgをして週報レビューをしよう!

QA人員体制

この報告書からなにが足りない?とうことをボトムアップで考えてしまいました、とのこと。

…なんとこのチーム、発表時間が余ってしまいましたwww

□講評：細川さん



(Q) NG回数/総テスト回数は予定?

(A) 予定に対する実績、全体のうちのタイミング

(Q) じゃあ大丈夫?問題ないよね?

チームとして、「いける」と答える???

本部長は、

→Yes

と言えば、もっと早くやれ、とチームに対して言う。

→No

と言えば、じゃあやめちゃおうか?という話にある。

(A) そこは自分たちテストチームにゆだねる範囲外と思った。

いくつかのメトリクスをならべて総合判断したほうがよい。ゴールにたどりつけるかつかないかをより強く。

落ち着いた報告!...とても20代に見えないww

■10班

イカロス君チーム



リーダー保坂さんより若い方もチーム内にいたようですが・・・

「私のほうが20代らしく見える」と・・・え？女性だよ相手？あ、10代に見えるってこと？www
ww

まあリーダーが初参加に対し彼女が常連組ということもあって、しっかりしている印象を受けたのではないのでしょうか。

□「5秒でわかる！プロジェクト報告書」

スライドの順番を変えていました。
まずは、工夫した点をアピール！

・QCDにわけて考えてみた

1枚目がプロジェクト概要とサマリー
全体としてプロジェクトがうまくいっているかどうか？を天気予報風に表示(晴れ時々くもり、など)。

2枚目が品質状況

メトリクス①バグ件数推移

検出率は予定の20%で推移している。

「やや問題あり」というのを明確に先頭に表記している。

「課題」の欄で、対策の提案をしている。

3枚目がコスト

メトリクス②累計工数(予定と実績)

「問題なし」と明確に表記。

4枚目が進捗

メトリクス③残テスト件数(予定と実績)

メンバーを写真で紹介。“ファントム”(細川さん)がはっきり写っているwww

チームメンバーは、アタが強く、みな自分の主張を曲げません！w

でも、うまく共有できた。

□講評：野中さん

最初の1枚目で状況をみせようとしているのがよい。

課題として挙げたものがそれまで確実に対応しているか？も書くとうい。

■9班

WAKATE ジャパン

「しゃべり下手なので・・・」

と、リーダー河田さんがとりだしたのは剣玉！
みんな成功を祈って息をのみつつ特技披露を見守ります。

村上課長もあたたかく見守りますw

チーム名は地元野球チームになぞらえて。

“K”なのはお約束www



□「やりきった・・・」

シンプルに、起承転結を意識した。

1枚目がテスト報告書の目的

Qに対する状況が明確であること

Dに対する状況が明確であること

リスクの状況が明確であること

2枚目はメトリクス①：テスト進捗と投入工数

ピンクの吹き出しで特に伝えたいポイントを明記。

3枚目はメトリクス②：バグ状況

同様にピンクの吹き出しで特に伝えたいポイントを明記

4枚目はリスク状況と対策案

分析と提案をしている。

振り返りはKPTで表現。

Tryとして、演習を通して得たものを現場で活かせるかどうか？そこが一番のポイント。

□講評：湯本さん



剣玉世界一周よかったですね♪

(いえ；ヨーロッパ一周です^^；w)

目的をちゃんと出して品質を明確に表し、進めているところがよかった。グラフに対してコメントを入れているなど、ポイントを指しているところがよかった。

4枚目について、結局何がリスクなの？

リスクになっていない。問題点とリスクは違う。問題点という視点でいっても、俯瞰していればいいけど・・・多面的な視点が必要。

■8班

だれねこチーム



リーダーの土方さんには心配ごとが1つ・・・
座席の配置的に、ビデオにずーーーーっと私の頭が映っていたんじゃないですかね～・・・wwwごめんなさいorz
(そんなこと全然気になさなくてよいですよぉー^^)

□「トルネード報告書です」

改善策とそれを実行することによる効果→改善をぐるぐるまわしてよりよい報告書にしようよ！

1枚目が報告のサマリー

製品の品質とプロジェクトの品質について

2枚目がメトリクス。

資料では細かく書けなかったが、結論を導くためのグラフを載せる。

3枚目が課題。

4枚目が、こいつをどうしようか？=改善点と効果

初めに本質的メッセージがでた点がうまくいったと思う。グループマインドマップを有効的に活用。星型のポストイットを活用。コミュニケーションツールとして。

このチームもぴったり時間内！

□講評：細川さん

ぐるぐる回しながらやっているうちに脳みそがとけていないかなあと心配ですがw

これは全員に(他のチームにも)同じ質問。自分たちのつくったメトリクスをふりかえろう。

「本音はどうなの？やばくない？やばいとしたらどこがやばいの？」定量的に報告した気になっているんだけど、本質的にはもっと深く考えるべき。

演習の成果物をだすのに必死になっているが、グラフをもっと深く読んでもっと意見がバラバラになってコンセンサスしにくくなるハズ。ところが綺麗にまとめてしまっている。

きれいにまとめて終わっていいの？今回の演習で持って帰るものあるの？

定量データだけで報告すると終わっちゃう。本当の意味で5人の合意がとれるか？定性的なことが大事。このワークショップの大事なところはそこ。非常にきれいな、工夫された発表。

■7班

大熊猫(ダオジャンマオ)チーム



20代がひとりもいなかった・・・

(年齢区分は「30歳以下か」で判断するため、たまたま30歳の方が複数になった場合はこのような状況になります)リーダーは中里さん。落ち着いた、うまいプレゼンが印象的でした。

集まったメンバーが、オフショアで”とある国”に関わりがある人が多く、まつわるキーワードを考えて班名が決定したとか・・・w

□「白・黒」はっきりしてみました！
パンダだけにw

先に本部長への伝達事項を記載。
(発表資料については、残課題あり、ということをは伝えた)

1枚目で伝わるようにしたい！
今どういう状況なの？スマイルマークが全部にっこりなら、他のページは見なくていいよ、マークがにっこりでないところだけ見て！

2枚目は「テスト進捗が知りたい！」に対する報告

3枚目が「バグ発生状況が知りたい！」に対する報告

4枚目が「その他トピックス」

□講評：野中さん



気になった点として、先週、今週とあるが、全体のスナップショットは上？

週単位と全体で判断できる＝今週わるくても全体では問題じゃない、というメッセージも伝えられる。週という短いスナップショットだけでなく、スパンをもった情報もあってもいいのかな？
全体的に非常にきれいにまとまっていた。

■6班 マヨネーズ



「みんな(次の発表班は)立って待ってるのに、この班だけ座って待っているってどうよ？」と村上課長から突っ込みを入れられて始まりました。6班は最前列右側。そう。いよいよトリです!!!

リーダーは伊澤さんなのですが・・・つなぎをしたのはチームの華?!中野さん。

「逆指名していいよ〜！」と言うので、逆指名しますっ!!
あひる部長を片手に細川さんを逆指名しました。

そんなにフルボッコにされたいかっ!と、細川さんも受けて立ち・・・じゃあフルメンバー3名体制でいきます!!!という話に。
班名はリーダー(大王)のtwitter名にちなんで。

□「なんじゃこりゃ〜(嬉)」

同じ「なんじゃこりゃ〜」でも、嬉しい叫びをもらいたいw



このチームも改善提案プレゼン資料となりました。

1枚目、これを見ることで、アクションを起こせるような情報

件数ではなく有/無や順調/遅/早などで表示
○をつける形式

2枚目が「GQMのQ」

他の班と違って、完全にプレゼン資料であると設定した。そのため、わざわざQを記載した。

3枚目は例えば・・・(グラフ)

本部長が知りたいのは結果どうなのか?だと思
う。見せる必要があるなら見せればよい。

4枚目は、Before→Afterを示している(改善結果イ
メージ)

「みんな幸せ」

口講評：オールスター！3名体制

細川さん：

Qについてどれくらい読み込まれているか？

グラフにぎざぎざが出るのはなぜ？

(A)あくまでも例なので^^;;

プロセスの改善にのっかっていると、その中身を見なくなる。

定型業務ではない＝判断をしなきゃいけない。

＝そのデータを読み込んでいかなきゃいけない

ぎざぎざな線＝直してテストして(直している間

テストしてない)・・・人員が足りてない証拠！

一番本質なのは、読みとる、考える、気づく

野中さん：

具体的に何を見ればわかるの？

議論されたものが発表にでてこなかった。どんな原因があるのか？可能性に対してメトリクスだけでは見えないこともある。どんな情報を見ればいいの？話し込んだと思うんだけど、それが出てくると良いと思う。

プロセスごとに得られる情報と、このクエスチョンがどう結び付くのか。

湯本さん：

計画をコントロールしたい？テストをコントロールしたい？計画した通りにやることも重要、だけど、その計画でなにをしたいの？

テストの活動をうまくやるために計画をしたい。テストの活動はなんでやるのか？は品質を確保したい。立てた計画に合わせる、ということでメトリクスの呪縛と同じことが始まってませんか？

最後に細川さんがメッセージを送りました。

自分が作っていったこのプロセスを現場に持ち帰って使っていきますか？この後もしっかり議論をしてください。

メトリクスの議論って、1日2日で終わるものではない。この班のメンバーに限らずみんなで名刺交換して、議論を継続することを約束してほしい。

■まとめ：湯本さんより全体講評



熱いムードに触発される。知らない人たちがだんだん盛り上がってくる。本来話したかったことが話せるのは素晴らしいこと。

GQMは難しかったと思うが、なぜ難しかったのか？を考えてみることを持ちかえろう。

各班、結局同じメトリクスとっている。難しくないはずなのに・・・

→そこから何かを判断することが難しい。

メトリクスは末端の手段。なにを目的として使ったのか？

「ぶっちゃけどう思う？」

その辺がメトリクスの呪縛、メトリクスの嫌いな面(好きな面もあるし嫌いな面もある)。

野中さんがおっしゃったように「正しく間違えるより漠然と正しくありたい。」

メトリクスがあるから品質がわかる。ではなく、自分の根拠を示す(推察を検証する)ために(客観的に見たい)ためにとる。

■しめ：村上課長より

挙手形式で問いかけるところから始まる・・・ん？このパターンは・・・線マニア村上課長のアツイメッセージでくぐられました。

おまけスライドなので予稿集には載っておらず、みんな必死にメモしていました。ネタに走っているにもかかわらず、しっかりまとめられています！

そして最後に全員で掛け声！いくぞーっ！

「WA・CA・TE・だぁーっ！！！」



「ありがとーっ！！！」

・・・最後と思ったら更にネタが走ったwww



村上さんの趣味なのでつきあってあげてくださいよ、みんなwww
とゆるワケで...「メトリクスをとろう！！！」

◆クロージングセッション！

「テストコンサルタントの
「見たい」「見せたい」「伝えたい」

湯本 剛 氏



まずは宣伝から・・・テスト PRESS Vol.10 特集
1 書きます！！

ちなみに特集2は細川さんですw

■ どういうふうなテストについて考えてきたか

湯本さんが、これまでどういう風にテストについて考えてきたか、のお話から。

テストはなんでやるんでしょう？
→いろんな意見(答え)がでてくる。
...そこで、ISTQB(シラバス)に聞いてみた！

テストの目的の記載もあるが、テストはなんで必要か？=テストの必要性もある。資料には湯本さんの補足も記載。

「将来開発するシステムの品質を改善できる」
...改善の元ネタとしてもつかえるんだよ。テストは。

テストの必要性を整理してみましょう！
図にする黄色口が ISTQB 掲載項目、ピンク口が湯本さん付け足し部の図。黄色が目的、ピンクが手段となる。

その結果として行うことが「更に目的」となる。
結果として行うのは「欠陥を摘出する」その下部に、具体的に行うことを挙げる
→これを黄色で囲む(黄色口)。
→更に下に手段を挙げ、ピンクで囲む(ピンク口)。
・・・目的>手段>目的のレイヤができる(下につながる)ものごとが連鎖していく。

目的と手段の連鎖を1:1とせず、工夫して考える。
→それが人間らしさ
繋がりがわかると腑に落ちる。
今度は”目的の上”を考えてみる。

それぞれの目的が、なんで必要なのか？=目的の先にある「想い」。

目的自身にもまたつながりがある。そして、そういう想いを伝えたい「誰か」がいるはず！
Ex)ステークホルダーいっぱいいるけど、誰のため？やまさき本部長につたえたいのかやまさき本部長からだれかに伝えてもらうのか？

目的と手段の階層構造はどんどんのびていく「究極の目的」がトップにある

↓

自分たちとみんなが幸せになりたい！！

目的をうまくやるための手段はいくつか(複数)ある。難しい=目的自身が合わない。視点(目線)が合っていない。テストの目的をちゃんと話しあって結論がでるのは素晴らしいこと

ここで、自身の過去をふりかえてみよう！

それぞれの時代ごとに、目的と手段の組み合わせを△で示した階層構造図で解説。立場が変わるにつれ、だんだん△の数、高さが増していきます。

※この階層構造図がどんな図か？については、

Software Testing ManiaX Vol.2に掲載されています。

【テスト担当者の頃】

テストの仕事を始めた頃・・・

「バグみつからないとお金もらえないw」

→オレ、やったぜ！とにかく与えられた仕事をやっていこう！的な。。

視点が一か所。限られた世界

↓

テストケースを書くようになった頃・・・

「そんな細かいことやってどうするの？」

→現実的なテストなのか？

過去情報が情報の海w

【テストリーダーの頃】

テストリーダーを始めた頃・・・

テストリーダーになると、工数・納期を守る！

=目的がさらに増える。

見積もりと実績があうようにしたい。見積もりに合うようにやる、というのが大事=守りたいもの

↓

案件の提案をするようになった頃・・・

人に説明できるようになりたい！

・疑問が湧く

自分たちの組織の売り上げを伸ばすためにテストするのか？

→金儲けなの？システム開発なの？

→嫌になった。

【テストコンサルになってから】

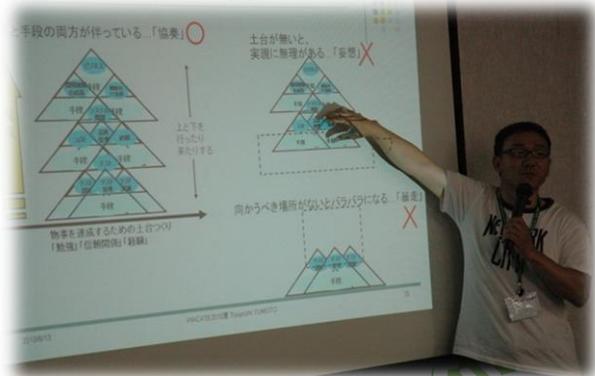
みんなにわかってもらいたい！！

(↓ココ重要！！)

大事なことは「視点」をあげること。

ゴールが高い位置にくるようにしたい！！それが大事(視点をあげることでゴールが高い位置にきて、それによりテストの価値を上げる)。

視点をあげるだけでなく、上と下を行ったり来たりすることで「協奏」となる。



上と下が繋がるようになると、テストコンサルとになるようがんばれるよ！

テストコンサルタントになりましょう！！！！

■なんで「伝えたい」から今回話したか？

伝えたい気持ちがないと続かないから！

じゃあ、伝えたい気持ちを持ち続けるには？

◇抽象化が必要！

◇「納得できるか」=“自分が”納得できるか？

→学んだこととチャレンジが繋がると納得いく。

→相手に納得してもらおう。自分と相手を繋げてほしい。

納得するという意味を英語にすると「connect the dots.」

もうひとつ

◇「押してもだめなら引いてみる」

人間のすばらしいところは「一回下がっていくことができる」こと。

目的のあるものからいったん離れることができる。

=ひとつのやりかたで失敗しても他の手段に変えられる。

■お待たせ！！Tipsの紹介

テストの仕方がわかったうえで現場の声を聴く

相手がやっていることを数字にしてみると短時間で把握できる、ただし共通理解が持てる単位にする！

「理解してから使う」

数字を使った把握。

→数字で判断しちゃダメ！！

→わかるっていっちゃダメ

※ただし、わかることはある。1人が一日平均何ケース実施できるか？を確認する(どう考えても無理な数の場合、単純に示せる)。

「モデル化し、複数の視点で見せる」

→必要なものを取り出し、不要なものを削る。

→根拠は複数の視点で。

最後には山浦先生の言葉「**テストほど知的で創造的な仕事は無い**」という湯本さんの「伝えたい想い」を参加者に送りました。

◆湯本さんから、参加者へのコメント

今回はテスト結果の報告書を作っていく中で、GQMのアプローチを活用していくという流れでしたが、ゴールをどう設定するかが難しいということがあらためてわかったのではないのでしょうか？私も皆さんの成果報告を聞いてとても勉強になりました。

クロージングセッションでの講演では、これからがんばっていく若い人達の参考になればと思い、私がどう考えて仕事をしてきたかということをお今回のテーマに絡めて話をさせていただきました。

普段話しているテストの話とは違って新鮮な気持ちで話ができました。おまけに3-PICTでの演奏までさせていただきとても楽しい2日間でした。

◆クロージング

講評者の皆さんから温かい言葉を受け、皆さんが最も緊張する時間が過ぎると、とうとう短いようで長いように思えた”WACATE 2010 夏”も終焉の時間となりました。

二日間を戦い抜いた参加者の皆さんの顔には心地よい疲れと、言いようの無い笑顔が見えます。

「疲れたけれども、終わるのが惜しい…」

この気持ちが伝わるような、とても複雑な表情を皆さんがしていました。

■最優秀発表表彰

まずは、二日間のワークを行った後の発表について、参加者と講評者が選んだ、最も優れた発表であった班の表彰が行われました。

参加者の皆さんが選んだ最優秀班は…

10班「イカロス君チーム」！！



各班の発表はどれも素晴らしく、本当に僅差で、「イカロス君チーム」が選ばれました。

シンプルで洗練された発表は、「特定の相手に伝える」という点でとても優れた発表であったと思います。「イカロス君チーム」の皆様、おめでとうございます！

■ベストポジションペーパー賞発表

続いて、恒例のベストポジションペーパー賞の発表です。

●Biased Favorite Paper 賞

ゲストスピーカー湯本様が選ぶポジションペーパー
井芹 洋輝さん

●Most Accelerating Paper 賞

実行委員が選ぶポジションペーパー
小池 志野さん

●Best Position Paper 賞

参加者が選ぶポジションペーパー
小田部 健さん

今回はプレゼンターを前回のBPP賞受賞者(BPPセッション担当者)の永田様にお願いをしました。



小田部さんのコメントはp.25に細かく書いていますので、そちらをご覧ください。

■最後に

実行委員長池田さんから労いの言葉が。今回は当日の様子を割と多く見ることができ、委員長自身もたくさんの気づきがあったとのことでした。

熱い想いに触れるというのは、参加者のみならず私たち実行委員もそうなのです。

今回のセッションは持ち帰って実践できる内容だったと思うので、使ってみてほしいと切に願います。

こうして、WACATE 2010 夏は終焉を迎えました。



■最後は恒例の！

アツさ、見えました！
ありがとうございました！！



We are accelerating!!



See you next "WACATE"!

書いた人：WACATE-Magazine 編集部

魅せられるWACATE 2010 夏 無茶振りゲストバンド

"3-PICT" ウラ話。

こんにちわーっす！

今回、3-PICT の演奏で打ち込み&Key2 を担当させていただきました上田（卓）っす。

※打ち込みとは演奏出来ない部分を機械に演奏させる部分を作る作業で、今回はドラムなどを打ち込みしました。



WACATE2010 夏当日、朝5時に起きてキーボード、スタンド、譜面台、マトリックスのコスプレ衣装やらその他諸々の荷物をまとめて三浦海岸に出発っ！！！！

そして、9時前くらいに三浦海岸に到着！！自分の持っている荷物をみて「俺は何をしにここにきたんだ??」という感じもありましたが、WACATE2010 夏のディナーセッションの舞台上でホントに演奏できるとはっ！！と、嬉しい悲鳴でいっぱいでございます。



みなさまディナーセッションでの3-PICTの演奏いかがだったでしょうか？演奏に参加させていただいた私は大満足で、めっちゃ楽しんでしまいましたっ！

そんな3-PICTの演奏の準備がどんな感じで行われてきたのかをちょっとお話したいと思います。

簡単にまとめると、

- 1) メールでやりとり
 - 2) オケ作る～みんなに配る
 - 3) 当日合う
 - 4) 演奏する
- という感じ。

・・・ん！？なんか段取り的にいくつか抜けてますねー。



今回の演奏、実は当日まで一回もお互いあっていないし、合わせての練習もしてないのです。。

ということで、

- 1) 当日まで会ってない
- 2) 当日まで合わせてない
- 3) 初めて音を合わせたのは、ディナーセッションの1時間前…

ありえないです。。一曲ならまだしも、3曲。

なんで本番あんなにうまくいったか、たぶん演奏してるメンバーが一番ビックリしてると思ってます。みなさん、プロだなあ～と思ってしまいました。

4月の後半に3-PICTの誘いをいただいて、そこから打ち込みをしてオケを作る作業を始めました。

個人的にヴァイオリンさんと共演出来るなんて滅多にない、、、というか初めてだったのでちょー緊張しました～

さらに最初に演奏した「Get Wild」については、オリジナルそのままではなく、一部アレンジをしたり、ヴァイオリンのパートを作ったりと、楽しんで作らせていただきました。



G.W. が終わったあたりから、仕事が終わって帰ってくると、打ち込みしてオケを作る。土日は引きこもって打ち込みしてオケを作るというのを WACATE 開催の一週間前まで続けました。(しょーじき、かなり大変だったな。。。)

WACATE 開催までの一週間は、自分のパートの練習に集中しました！！

準備している最中、

- ・演奏者はちゃんとノッてくれるのか、納得して演奏してもらえるか
- ・お客さんは楽しんでくれるか

…という不安が当日の本番まで続けました。

演奏者さんが気持ちよく演奏してくれたり、ヴォーカルさんが気持ちよく歌ってくれることで初めてお客さんは楽しんでくれると思っているので、それを支えるバックで流れるオケは地味なんですけど重要だなと感じています。

なので、例えばどこかで集まって練習出来ると、こういった演奏の仕方をするのかな？こういったところをアピールするのかな？などが確認出来るので、そういった事を踏まえてオケの微調整が出来るのですが、今回はメールやチャットのみということで、んー、イメージで作るしかないなって思いました。

そんな中、当日のリハーサルを迎えました。

で、当日のリハーサルで、オケを大音量で流して合わせたときに、みんな普通に演奏しているし、歌えてるっ！



「なんだ、出来るじゃん！！！」って思ったのは今でも一番の印象に残っています。

大変な思いして重いもの持ってきて良かったーって思った瞬間でもありました。

さて、3-PICT のウラのテーマとして、「大人げなく宴会をぶちこわそう」っていうのがありました。

いい感じでぶちこわせたかなあと思ってます！！



最後に、バンドに誘ってくれた実行委員の皆様、そして演奏を聴いてくれた皆様。そして何より、競演してくれた3-PICTの皆に感謝の言葉を！

本当に有難うございました！！！！



書いた人：うえだ

半歩先を狙え!

—WACATE 2010 夏 BestPositionPaper 賞受賞への道程—

祝! BPP (Best Position Paper) 賞受賞のおたべです。
今は素直に喜ばせていただきます。○(≧▽≦)○ ワイ♪

※表中の青色は WACATE 参加前のスキルレベル、赤色は参加後のスキルレベルです。



はい、喜ぶのはここまで!(笑)

正直なところ私より知識も経験も豊富な面々が大勢参加する中、本当に私がこの賞を頂いて良いものか複雑な気持ちもあります。

しかし実は一点だけ絶対負けていないものがあるんです。全ての参加者および実行委員を含めて、全ての WACATE と WACATE ShortShort に参加しているのは私だけで、**継続すること自体に十分意義がある**のだと今回の受賞で確信しました。

今回は受賞したポジションペーパー(ポジペ)の解説と、受賞に至るまでの道程を説明していきますので、次回以降 BPP 賞を狙う方は是非参考にして下さい。

◆ポジペ(WESS)解説

私が今回書いたポジペの目玉は **WESS (WACATE Enjoy Skill! Standards)** です。WESS は ETSS (組込みスキル標準) を参考に作成した、WACATE を楽しむのに重要なスキル群のセットです。

また各スキル群にはスキルレベルが設定されています。

- L1: 支援のもとに作業を遂行できる
- L2: 自立的に作業を遂行できる
- L3: 作業を分析し改善・改良できる、
- L4: 新たな技術を開発できる

表1: 技術要素と実行技術

開発できる	L4														
改善できる	L3														
自立的	L2														
支援必要	L1														
		マインドマップ	新・品質7つ道具	各種テスト技法	参考文献	JSTQB	業務知識	イベント内容	合宿環境知識						
		技術要素									ポジペ作成	バグ報告	GQM	メトリクス	プレゼン
											実行技術				

【技術要素】

ここでは自分の持っているスキル群から WACATE に関連するものを挙げています。

マインドマップや新・品質7つ道具はメモを取ったり意見をまとめるのに毎回利用しています。表中のマインドマップのスキルレベルが L2 から L3 にアップしたのは、今回のワークショップで **iMindMap** を使ったグループワークの進め方を学んだので、日常の業務でも利用して行く予定だからです。

参考文献や JSTQB の知識は参加者と共通の認識を得る上で大事です。また侮れないのが合宿環境知識で、持っているとき自由時間や買い物および会場移動の際に無駄なく動けるようになります。

【実行技術】

ワークショップで必要なスキル群として、題材そのものを抽出しました。

ポジペ作成のスキルレベルは WACATE 開始前の時点では L3 でしたが、BPP 賞を受賞できたので **L4 にアップ**しました。

表2: 管理技術、コミュニケーション、パーソナル、ビジネス

L4															
L3															
L2															
L1															
	時間・作業進行	モデレータ	チームビルディング	作業プロセス設定	自己紹介・説明	相手承認・褒める	発言・質問	飲みにケーション	趣味(写真)	趣味(音楽)	趣味(ネット)	スター☆	人脈拡張	マーケティング	運営
	管理技術				コミュニケーション			パーソナル			ビジネス				

■ベストなポジペが出来るまで

ここからはどのようにしてポジペを作成してきたか、GQM (Goal, Question, Metric) 手法風にその過程を解説します。



図1:GQM のイメージ

◆Goal を決める「半歩先に行くポジペであること」

半歩先とは、読者が期待するポジペの方向性を見極めた上で、更に**期待の半歩先に行くこと**を意味します。今回はその半歩が WESS だったのでしょ。

◆Question 「3つの軸のバランスが取れているか？」

Goal である半歩先を達成する上で、外してはならない**3つの軸**を設定しました。

【WACATE 軸】

- ・ポジペの内容が WACATE のテーマに沿っているか (今回のテーマは「見える化」)

【読者軸】

- ・読者が読みたい内容になっているか (新規性)
- ・一目で興味を引くデザインか (文章控えめ、イラストや図表の使用)

【自分軸】

- ・自身の経験に基づいた内容か (説得力の有無)
- ・独自性を出し過ぎて読者に分かりにくい内容になっていないか (読者の嗜好と独自性のバランス)

◆Metrics 「軸バランスの推測」

定量的なメトリクスの計測は行っていませんが、下記の観点で分析と推測を進め、ポジペの方向性を決定してきました。

- ・過去に各賞を取ったポジペの内容と受賞理由の分析
- ・受賞したポジペと自分のポジペとの差分の分析。
- ・分析結果の3軸へのマッピング。

結果として BPP 賞を受賞できたので、メトリクスの収集・分析とポジペへの反映は適切だったのではないかと考えています。

◆実際に作るのは大変だ

WESS は ETSS (組込みスキル標準) を参考に作成しました。ETSS を知るきっかけとなったのは、QuaSTom (高品質ソフ

トウェア技術交流会) に参加した際に ETSS が紹介されていたからです。また QuaSTom を知るきっかけとなったのは、たまたま読んだ Web マガジン「Quality One」で QuaSTom が紹介されていたからです。

更に試作した WESS は WACATE 開催前の振り返り会で参加者に見てもらい、そこで出た意見を参考に改良を加えています。このように「**日常からアンテナの感度を高く保つ**」「**学んだものは使ってみる**」「**第三者の意見は真摯に受け止める**」姿勢が今回の BPP 受賞にとって不可欠な要素であったと言えます。

◆目指すは3冠王!

過去に MostAcceleratingPaper 賞を受賞しましたので、残す賞は Biased Favorite Paper 賞のみ! ただしこの賞はその時々ゲストが個人的な判断で選定するので、メトリクスの蓄積が活かしにくいのが問題です。一度 GQM 手法から離れて他の手法を適用すべきかもしれません。

■まとめ

これだけは言えます、**BPP 賞は偶然受賞出来たのではない**のだと。実際は計算尽くで入念に準備し、人事を尽くして天命を待った結果、幸いなことに参加者の目にとまり受賞することが出来ました。



ただし最大の反省点は人事を尽くしすぎて受賞時の喜びが前回の MostAcceleratingPaper 賞よりも低くなってしまったことです。その反省点をふまえ、**次回は「魅せる化」を目標にポジペを作成**する予定です。「見やすい」のではなく「見たくなる」、読者に対して新しい価値を提供出来るようにセンスとスキルを磨いていきます。

書いた人: おたべ

WACATE Short Short vol.12 -WACATE 2010 夏 前夜祭-

こんにちは、前夜祭お世話役のおたべです。WACATE2010 夏も無事終了し、参加された皆様は WACATE で得た気付きや経験にサイン本などを職場に持ち帰って存分に活用されているのではないのでしょうか。

では、WACATE ShortShort Vol.12 WACATE2010 夏 前夜祭のレポートをお届けします。

◆イベント概要

WACATE の開催会場であるマホロバマインズに前日夜から現地入りし、そこに集まった参加者同士で交流を深めていくのが前夜祭です。一般参加者以外にも**実行委員やゲストとも交流する貴重な機会**があり、場合によっては**マンツーマンで悩み相談**に乗ってもらうなど、WACATE ファンにとってかなりおいしいイベントになっています。



◆遠方よりの参加

今回意外と多かったのが**東海地方**よりの参加者達でした。理由としては WACATE 当日の朝早くから来るよりも、前夜祭で泊まったほうが色々都合が良いそうです。

遠方よりの参加が多かったおかげでお土産に水ういろや八橋など地域の特産品を持参された方も多く、プチ旅行気分が味わえました。「おたべ」も美味しかったです、ちょっと共食いしている気分になりましたがw。

ただし美味しいお土産に舌鼓を打つのも束の間、その中に混じって明らかに雰囲気異なるお土産が一つありました。

デソース、...

だ〜れだこの死神の小瓶を持ってきた奴は！ 人に味見させる気満々の笑顔と、あっさりスルーする経験者、そして興味本位で手を出して顔が引きつる面々。私も1年以上前の大惨事の記憶が生々しく蘇り、食べてもいないのに口の中が辛くなってきました（※詳しくは WACATE Magazine Vol.06 を読んでね!）。



◆スター☆降臨

WACATE 本番前の実行委員に会えるのも前夜祭のメリットです。今回はいきなり**スター☆アマサキ**が降臨しました！ 本番前でスター☆の象徴であるアフロこそ金色でなかったものの、スター☆の存在感をいかに発揮し WACATE 女子部の面々の視線を独り占めしていました。

◆テスト談義、仕事談義

色々職場では言えない悩みや疑問を皆さん少なからず持っていますが、前夜祭はそれらを着に盛り上げて行きます。ソフトウェアテスト293の鉄則やオフショアの苦労話などの話題で熱くなれるのも前夜祭のいいところで、**何度も読み返して手垢の付いた本**を見ると、本当にテストが好きなんだなーと純粋に尊敬して身が引き締まる思いでした。



◆前夜祭を終えて

WACATE の開催も今回で7回を数え、参加人数が増えて一人ひとりと話す機会が相対的に少なくなってしまうのはとてももったいないのですが、そこをうまくカバーするのが前後夜祭となります。

ただし**前後夜祭はお世話役に立候補したWACATE ファンの努力があって初めて成り立ちます**。この記事を読んで WACATE ShortShort に興味をもたれた方は是非お世話役に立候補してみてください。イベントをデザインし盛り上げるのはお世話役次第、日頃培ったプロジェクト管理の技術を存分に発揮してみませんか？

書いた人：おたべ

WACATE Short Short vol.13

熱い二日間を打ち上げよう！ WACATE2010夏 後夜祭

熱い2日間の締め括りと言えば・・・
既に恒例になりつつある後夜祭！
今回もありましたよお～！

今回は、WACATE本編参加者の約半数にあたる25名(幹事一ズ含む)の方にご参加いただき、盛大に開催されました！
その様子をレポートいたします。

★ 後夜祭はじまりはじまり～

全員での集合写真撮影後、1階出口に集合し、全員で会場のある横浜まで移動です！

そうです！ 後夜祭は、宴会だけでなく、会場までの移動も含まれるのです。
会場までの道のり、本会で学んだことや、興味があるテスト手法のことなど、テスト話でワイワイしながら移動しました。

★ いざ、会場へ～

会場は、横浜駅前のビアレストラン★
ビール好きにはたまらない！
女性参加者もテンション↑↑間違いなしの、かな～り、お洒落なお店でした！
参加者の1人が「こんな服だけど大丈夫？」
って言ってるの聞いちゃったり。。。

会場に到着後、前回、好評をいただいたくじでの席決めをまたさせていただきました！(進歩なくてすみませんm()m)

本会で同じチームじゃなかった人や、ベテランさんと初めての人が隣になったりして、いい感じの席になりました！

よかった！よかった！

★ 乾杯～

ベタな乾杯の挨拶で、後夜祭スタートです！



乾杯後、食事もままならない状態で、みなさん、テスト話で盛り上がっていました！

今回のワークショップで学んだことを職場にこうやって持ち帰りたい！とか、今、こんなことで悩んでいて～とか、聞こえる話はテスト話ばかり・・・ みんな、ホントにテストが大好きなんですね！

やっぱ、WACATEに参加する人は、筋金入りのテスト魂の持ち主です～

後夜祭の楽しい様子は、写真から読み取っていただければ・・・



なぜか流行ってたポーズ



楽しい夜は、熱いまま終わっていきました～

★ 最後に～

後夜祭にご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

なんと、WACATE に参加された方の半分も参加していただきました。

幹事一ずとして本当にありがたく感謝しています。

今回は、都合で参加できなかった皆様も、また、年末にもあると思いますので、ぜひ予定に入れておいてくださいね♪ (すぎた)

後夜祭にご参加いただいた皆様、今回も、みなさんの盛り上げで楽しい会を持つことができました！ ありがとうございました！

写真の中のみなさんの笑顔を見て、楽しんでいただけていることが感じられ、とても嬉しく思っています。 後夜祭での出会いも含め、WACATEでの出会いを大切にしていきたいですね♪

また、半年後にお会いできることを楽しみにしています☆ (かわさき)

後夜祭にご参加いただいた皆様、ありがとうございました。今回も大いに盛り上がることができ、本当に良かったです。これも皆様のおかげです。本当に感謝しています。

今回残念ながら参加できなかった皆様も、次回は是非一緒に盛り上がることをできればと思います。また半年後に開催される WACATE でお会いしましょう。(わたなべ)

P. S. 幹事一ず、新メンバー募集中です。

よくわからずに書く

第19回：【 これからのWeb技術とテスト 】 松木 晋祐(しんすけさん)



こんにちは。しんすけさんと呼ばれることの多い松木です。遠藤さんよりボタンをいただきました。普段は Web ブラウザの開発に携わっている関係で、Web なんだか組込みなんだ

か、よくわからない位置で日々QA に、テストに、無い知恵を絞っています。寄稿にあたって自分の引き出しをいろいろと漁ってみたのですが、ことテストに関してはロクなものが出てこない！ので、せめて日々自身が触れている Web 技術の今とこれから、それに伴って変化するであろうテスト技術者に求められるスキルセットの予想など、書き連ねてみたいと思います。

● 「Web 技術のいま」

2010 年現在の Web 技術、アプリケーションは主に 4 つの主要な技術によって成り立っています。HTTP に代表されるプロトコルとその上に乗っかる XMLHttpRequest 等の通信技術、HTML や CSS に代表される Web 表現技術、その Web 表現を動的に書き換えたり、ユーザーインタラクションに対応する振る舞いを付与する為の、javascript、DOM といった Web スクリプティング技術、そしてこれらをクラウド側で成り立たせる為のサーバーサイドテクノロジー。これら要素技術のなかでもっとも変化が激しく、また体感もしやすいのが3つめに挙げた Web 表現技術です。

今まさに旬の HTML5 はその筆頭で、1999 年に W3C 勧告となった HTML4.01 の約 10 年ぶりのバージョンアップとして、動画や音声等マルチメディアコンテンツへのネイティブ対応、カラムレイアウトやサイトナビゲーションといったイマドキの Web サイトの構造に仕様のほうを合わせたもの、処理系としての機能向上を狙った Socket や Storage、Worker (thread 対応) など、豪華絢爛な機能が盛り込まれようとしています。している、と述べたのはこの仕様が未だ仕様検討段階にあり、これらはいくつかの現実の実装がない限り仕様としては FIX しないからです。これが完全に定まるのは 2012 年頃だろうとされています。

● 「これからのシステムと需要が高まるかもしれないテストタイプ」

ここからはすべて僕の予想ですが、今後、スタンドアロンアプリケーションというのはどんどん減っていき、まずデータをローカル(イントラ)においたままシステムだけ Web 技術を利用する形、次にデータもクラウド側に置いてしまい、手元の PC はただのブラウザになってしまう形に変容していく事でしょう(ちなみに、この原稿を書いているのは Google Document です)。テストエンジニアがかかわるのは、HTML と CSS で記述されたビュー、JavaScript/DOM で記述されたコント

ローラー、そしてサーバーサイドのモデル。そのアプリケーションに button を配置するために書くコードは、

```
CreateWindow("button", "OK", , , );
```

ではなく

```
<button id="hoge" onclick="return false;">
```

です。恐ろしいですね！

UI のちょっとした振る舞いであっても、通信が伴わないアプリケーションはほぼ無くなると思われるため、状態遷移テストや負荷テスト、ロードテストなどウェブ系のテスト技術を基底として、メインストリームとして求められる可搬性や保守性も問われてくると考えられます。また、クラウド側にデータを置くことが一般化すればするほど、セキュリティテストの需要がますます高まる事が容易に想像できるため、たとえ専門家でなくても、HTML におけるフォーム送信や XMLHttpRequest を利用したデータ送受信、cookie や storage を用いたセッション管理技術、SSL 通信の基本的な動作原理などに加えて、XSS、XSRF、SQL インジェクション、セッションハイジャックなど、有名な攻撃手法も抑えておくとうよいと思います。

● 「僕たちも加速していく」

IT 業界は「ドッグイヤー」と呼ばれて久しいですが、数あるドメインのなかでも Web とその周辺技術、特に HTML5 辺りの上位レイヤーは「ラットイヤー」と呼んでも差し支えないぐらい異常な速度で代謝しています。僕らテストエンジニアもこれに負けないスピード感と、技術要素に通じアーキテクチャを評価できるような俯瞰的な視点を併せ持って、変化に対応していきたいですね。



図：世界初の www サーバー。ちなみに動作している OS は iPhoneOS の先祖だったりします。

Software Test Topics

当番：上田 卓由 (Magazine 編集部)

こんにちは、上田です～♪

WACATE2010 夏、またまた大変お勉強になった二日間でしたっ!!
今回はディナーセッションでお手伝いしたりして、いままでとちょっと違う WACATE になりました。

さてさて、今月もお役立ち情報をお届けします～

【書籍】ソフトウェア品質会計—NECの高品質ソフトウェア開発を支える品質保証技術—

JaSST'10 Tokyo にて招待講演された菅田直美さんの書籍が上梓されました。「王道」を見よ!

【資格】JSTQB 認定テスト技術者資格 Advanced Level トライアル試験

申し込み期間が2010年6月14日～7月5日と、まだ期間内ですが、すでに定員に達しているとのことで申し込み受付が終了してしまいました。。。

Advanced Level では業務証書を提出したりと、Foundation Level と段取りが違うため、その説明がまとめられた PDF ファイルがサイトに掲載されています。(2010年5月27日のAdvanced Level トライアル試験の説明会で使用された資料のようです)

【イベント】ソフトウェア品質シンポジウム 2010(SQIP2010)

日程：2010年8月25日(水)～27日(金)
会場：東洋大学・白山キャンパス(東京・文京区)
http://www.toyo.ac.jp/access/hakusan_j.html
主催：財団法人日本科学技術連盟
後援：文部科学省、独立行政法人情報処理野鳥機構 (IPA)

◆お申込は[こちら](#)から

◆最新情報・詳細については[こちら](#)から

◆参加費 (税込)

○併設チュートリアル(半日集中講座)

- ・併設チュートリアル 5,250円
- ・併設チュートリアル(8/25)+基礎講演(8/26)セット 8,400円

○本会議

- ・一般 39,900円のところ → 37,800円
- ・日科技振興助会員 37,800円のところ → 35,700円
- ・発表者(発表者本人のみ)：5,250円
- ・共同執筆者(1名に限り)：18,900円
(論文発表者、共同執筆者は早期割引対象外となります)

シンポジウムの初日 8/25(水)に行う「併設チュートリアル」はこんな感じです。

- ・清水 吉男さん：「XDDP でビジネスに勝つ」
- ・秋山 浩一さん：「体験！テスト技法：点、線、面、立体、四次元観点」
- ・野中 誠先生：「ソフトウェア品質データ分析の作法：知識を発掘し、施策に活かす」
- ・鷲崎 弘直先生：「演習で学ぶソフトウェアメトリクス」
- ・鈴木 尚志さん：「実践！プロダクトライン開発」
- ・玉川 憲さん：「実践！チームの生産性を高めるアジャイル開発プロセス」

【イベント】ソフトウェアテストシンポジウム 2010 関西(JaSST'10 Kansai)

7月2日に開催予定のJaSST'10Shikoku(続き、JaSST'10 Kansai)です。テーマは「負けぬテスト」

日程：2010年7月23日(金) 9:45～18:25 (18:35～20:00 情報交換会)

場所：クリエイターズプラザ(クリエイション・コア東大阪3F：大阪府東大阪市)

参加費：シンポジウムのみ参加 5,250円(昼食込み、税込み)、シンポジウム+チュートリアル参加 7,350円(昼食込み、税込み)、情報交換会チケット4,000円(税込み)

主催：特定非営利活動法人 ソフトウェアテスト技術振興協会 (ASTER)、JaSST'10 Kansai 実行委員会

共催：独立行政法人 国立高等専門学校機構 奈良工業高等専門学校

申込みは7月16日(金)までですのでお早めにつ!!

このコーナーでは、書籍やイベントの情報を募集しています。

例えば、「来月勉強会とか OFF 会とか開催するんだけど掲載してくれない?」といったものでもOKです。

開催地も、日本全国津々浦々、どこでもかまいません。

情報をお待ちしております m(_ _)m

池田暁の

ミュージカルに恋して。

【第十九編】 一気が付くと一年半

♪WACATE2010 夏が終わって

WACATE2010 夏が無事終了し、ちょっと一息といった今日この頃、読者の皆さんはいかがでしょうか。BlogやSNSの日記に、たくさんのレポートが公開されており、それを拝読することがとても楽しみです。レポートをまとめることで自分の考えが整理されますし、ブロードキャストするにはより相手に伝える努力をし、それは自分にとっても分かりやすくなるということで、**情報を知識とするためにぜひ積極的に取り組んでいただけたらと思います。**

♪気がつくと一年半なわけで

私もこのような形で観劇レポートを書いているわけですが、**気がついてみると一年半もやっています。**本人としては始めたばかりのつもりなので、ちょっとびっくりしました。そういったわけで第一幕から読みなおしてみたのですが、よく続けてきたなあとなんとはなしの感慨があふれてきました。徐々に知識が増えていることもわかるし、物事の見方が養われているのも見て取れます。おそらく観劇しっぱなしだところではなかったでしょう。文章に起こすことで反芻し、知識としてきたのだと思います。知っている俳優も増えましたし、宝塚女優とかは愛称で呼ぶようになったし、成長もしたものです。ディナーショーとか行ったりもしましたね。**我ながらやりすぎだとも**思います。

…そうか、一年半か。となると、観劇歴もそれなりの長さになってきたわけで、いったい今までいくらつかったのだろうか…とよぎりましたが、今は考えないことにしましょう。(^-^)

* * *

♪キャンディードの話

7月はとても楽しみにしていたキャンディード（帝国劇場）を観劇。この演目はバーンスタインが作曲しているということで、ご存知の方も多いかと思います。**Make Our Garden Grow** は、曲名を知らずとも一度は耳にされたことがあることでしょうか。そんなわけで曲はもちろん楽しみにしていたのですが、このキャンディードはレ・ミゼラブルやベガーズ・オペラといった演目の演出で有名なジョン・ケアードが手がけており、彼のファンである私としてはとても楽しみだったわけ。それに加えて、俳優陣がとても豪華。市村正親に井上芳雄、新妻聖子に坂元健児、といった手堅い陣容です。曲は変拍子が多いので歌手は大変だなあ

と思って観ていましたが、皆よく歌っていました。個人的にはクネゴンデの **Glitter And Be Gays** は一番の聴きどころだと思っていて、演じた新妻聖子は本当によく歌っていたと思います。若手ではピカイチの歌唱力ですが、存分に発揮していましたね。音域も広く、また結構な長さの曲なので、圧巻といった感じ。それから、このカンパニーはアンサンブルが良かったので、全体おして安定感がありました。初演ということもあり、しっかりとオーディションしたのだろうなと思いました。

演出もさすがでしたね。たった7つの箱で舞台を割り上げていく手腕には驚きです。帰り道、彼の「舞台の作り方」という本を買って帰ってしまいました。

♪スカーレット・ピンパーネルの話

久々の宝塚ですよ！ということで、宣言通りスカーレット・ピンパーネルを観劇。なんとSS席での観劇となったため、当日はテンション上がりっぱなし。演出は小池先生ということでさすがの仕上がりでした。昨年のバージョンに手を入れられていて、わかりやすくなっていたなあと思いました。ワイルドホーンの楽曲もさすが。生で聴くと鳥肌ですね。**「ひとかけらの勇氣」**、いい曲ですよ。宝塚版はかなり潤色されていて、ここでしか聴けない曲も多いですから、海外版のサントラで慣れている方にも新鮮なのではないかと思います。

♪今月の一枚

梅雨の時期ということで、鎌倉を散歩してきました。どの花も綺麗で癒されました。(^-^)



♪終わりに

来月はちょっと休憩で8月に備えます。いよいよエリザベートが開演ですよ！<終>

まーくの☆
補給戦線異状なし!

本コーナーはテスト業界という
 知的戦場で戦うテストエンジニアたちの
 糖質補給等を暑苦しく支える
 漢(おとこ)たちの物語である!

Extra Mission-2 : 関東南西部方面戦線状況報告!!

今回は、南西部戦線のコヤマン軍曹が率いる部隊
 そして、わが部隊を含む日本各地の部隊の精鋭達が
 南西部戦線へ集結した。

各精鋭は、各方面の部隊からでも選りすぐりの戦
 士である。そして、6月のある日、各軍曹たちは、
 日本中より続々と終結していた。

なお、今回の合同作戦は、年に2回行われる作戦
 であり。作戦テーマを与えられる。各軍曹は、日ご
 ろの戦場で培った技術力・行動力・マネージメント
 力等を十分に発揮して作戦行動を行う。

また、本作戦は、各有名な上級士官も参加され、
 我々の作戦行動についてもコメント頂けるという
 大変貴重な作戦行動である。

さて、朝より今回の作戦説明が始まり。その場で
 新たに編成されたわが軍の精鋭たちは緊張した面
 持ちで司令官による作戦説明完了後、2日間にわた
 る作戦活動に入った。

今回の作戦は、一昼夜におよぶ長い作戦であり、
 その場で指名され幾つかの部隊が編成された。

しかし、各部隊は、日ごろの疲れも見せずに作戦
 行動に入った。とはいえ、長時間におよぶ作戦であ
 るので、適切な休息や補給を行う必要があった。今
 回のわが部隊に東海方面より参加したうら若き女
 性の軍曹がいらした。かの軍曹より、当部隊へ差し
 入れ補給物資として渡されたのが、

これだ!



スターでもあるらしい。

北海道産の小豆を使ったあんこ、ビスケット生地
 を三層構造で焼き上げられている。あんこのほんのり
 した甘さとビスケットの微妙な塩味で大変おおい
 し!と、大評判であった。

また、わが部隊は、有名な上級士官による状況視
 察を受けたときには、ぜひ美味しいのでと贈賂、お
 疲れの上級士官にも(押し付けて)食べていただい
 た。



こうして、わが部隊は、2日間にわたる作戦に渡
 る作戦を無事終了することができた。

また、残りをお土産で頂いたので。帰還後に当軍
 の上等士官殿に上納したところ大好評であった。

くわしくは、松永製菓株式会社

<http://www.matsunaga-seika.co.jp/>

以上

昨今は、東海地区ならず関東圏でも入手可能らしい。

番外編：コーヒーの花



真っ白な花です。

書いた人：まーく

あたへの

日々

撮影風景

2：わさび畑

■ぶらっと出かけよう

梅雨に入って暑くなってきましたが、いかがお過ごしでしょうか？ そんな暑い時は河原近くの木陰で天然のクーラーを効かせながら昼寝をすると気持ちいいですよー。

日々撮影第2回目は、**奥多摩ハイキング**をレポートします。

■ハイキング概要

奥多摩は東京駅から電車で約2時間、JR青梅線が走る地域です。今回紹介するハイキングコースは6月19日に訪れた、奥多摩の川井駅～沢井駅コースです。

◆コース全体マップ



川井駅～沢井駅間の距離は約5km、コースは道路と遊歩道で整備されているので歩きやすい格好であれば問題なし、そして**ひたすら川沿いを下っていく**ので体力に自信がなくてもハイキングを楽に楽しめます。

1：スタート地点、川井駅付近



駅から見える大橋を超えて、眼下の絶景を眺めながら進んでいきます。すぐ近くには有料のキャンプ場があり、その日も数グループがバーベキューに釣りや川遊びを楽しんでいました。



奥多摩は水が綺麗でわさびを栽培しています。コース途中にある御嶽駅ではわさび漬けその他のお土産も売ってしまっていて、それを**クラッカーやバナナチップ**にのせて食べるとかなりイケますよ。

3：遊歩道入り口



ここから川辺にぐっと接近し、ハイキングも本格的に楽しくなります。周りを深緑に囲まれた中、足を冷たい水に浸すとほっと一息つけます。

4：御嶽駅（休憩）



御嶽駅では近所のおばちゃん達が**くみ大福**や**わさび漬**けにトマトその他色々なお土産を販売してました。御嶽駅はハイキング以外にも近くのケーブルカーで御岳山に登れたり、ハイカー達に人気の駅です

5：ハイキング再開



見ての通り遊歩道完備！ 楽ちんです。

6：川下り



遊歩道からの眺めです。激しい流れの中チーム一丸でボートを操る！ これだけのチームワークを発揮できたら仕事も順調に進むかなあと羨ましく思えました。

7：フリークライミング



身体一つで巨岩に挑む！ 脇の下の筋肉がモモンガのように盛り上がり動いていたのと、登り切ったクライマーの笑顔が印象的でした。

8：ゴール地点、沢井駅の「澤の井」

道中は紫陽花などの色とりどりの花を觀賞して楽しみながらゴールです。ただしこの記事を読むようなWACATEファンはここからがもう一つの本番なのです！



沢井駅には小澤酒造があり、駅近くの澤乃井園では酒造で造っている様々なお酒を利き酒することが出来るのです。心地よく疲れた後に飲むお酒の旨いこと、酒以外にも湯葉料理の専門店もあるので食事も楽しめます。

■ぶらっと出かけたくなりました？

ハイキングのまとめです。

- ・短距離（5km）でしかも下るだけ
- ・歩きやすい格好ならOK!
- ・大自然がお手軽に楽しめます
- ・暑かったら川に入っちゃえ!
- ・わざひ漬けその他のお土産が色々売ってます
- ・利き酒あります
- ・湯葉料理あります
- ・酒造の仕込み水飲み放題（持ち帰りは5L? まで）

日頃仕事で凝ってる頭や身体をハイキングでストレッチしてみてはいかがでしょう？



書いた人：おたべ

今月のSTAR★

◆やっぱりスター★は凄い！

WACATE 2010 夏の1日目の朝、さぞ緊張されていると思っ
て声をかけたところ…



…フツーでしたw さすがスター★は違いますね。



そしてゴールデンアフロに無事クラスチェンジ☆

控室では本部長の仕事として、大真面目な顔でアヒル
に魂を吹き込んでおりました。



きっとアヒルちゃんを通して参加者の皆さんを見てい
たに違いありません！

そして夜はジャズミン♪として初参加者の皆さんに
ついて華(?)を添えました。



なんということでしょう！この女神のような笑顔！

◆前日は…

そんな大活躍のスター★ですが、皆様のために影でい
ろいろと努力されています。
前日はもちろんウィッグのチェックを怠りません。



そして肌の調子を整えるための秘密兵器！



まるで舞台俳優のような荷物です。



そして、ファンから大変好評な美脚のできあがり！

◆そして祭りが終わると…

ディナーセッションが終わった二日目の朝は、なんと
も切なげに荷物を閉じていました。



大丈夫！きっとすぐ会えますよ！スター★頑張っ
て！
書いた人：コヤマン

開運

源太郎の ソフトウェアテスト占い

※「ソフトウェアテスト占い」とは…

日本の伝統的な暦で知られる気学(九気性)をもとに、日本古来の統計学とソフトウェアテストで培った時代の統計学を組み合わせ考察された占いである! (笑)

	生まれ年	7月の運勢
一白水星	S38/S47/S56/H2	運気は安定しており、万事に粗相はない。周囲の状況をわきまえつつ進行すれば成果につながる。しかし強引な無理押しはかえって反発をうけてしまう。
二黒土星	S37/S46/S55/H1	運気は不安定で四方八方をかせず回り回れども良き結果は求められぬ。焦れば焦るほど不利となる。もう一度計画を見直し吉方を選び援助を求めるのが賢策。
三碧木星	S36/S45/S54/S63	運気は衰運で総てに低迷の兆しが見える。まさに断崖の絶壁に立つ有様。いかにこの断崖を降るか退路を見つけるか今は自分の判断以外にない。
四緑木星	S35/S44/S53/S62	運気は一転し大いに躍動の好機である。今こそ積年の蘊蓄(うんちく)を大いに前進せよ。成果は十分期待出来る。柔より剛の対応が今は必要である。
五黄土星	S34/S43/S52/S61	運気は平穏に過ぎている。平素の行い認められ各方面から信用を受ける。ただ従来の強情さを少し治めぬと反発も起こる。常に笑顔も必要。
六白金星	S33/S42/S51/S60	運気は強運だが谷に言う八方塞がりという感じがしなくもない。思いがけぬ変化・変動や離合・集散のある月でもある。何事も臨機応変に事を運び後に残さぬこと。
七赤金星	S32/S41/S50/S59	運気はあまり変化のない平凡な日々となりそう。だが活動は活発に行う必要がある。中だるみにならぬよう心の引き締めが大事な時。独断専行も禁物。
八白土星	S31/S40/S49/S58	運気は今なお平穏に進んでいる。万事本格的な行動に移しても差し支えない。しかしその後の方法が難しく、よほどの努力と知識が無いと無駄骨ともなる。
九紫火星	S30/S39/S48/S57	運気は衰運を未だ回復する様子がない。長期の我慢比べといったところ。焦りは禁物。時機に備え周辺の見直しも肝心。一進一退の駆け引き時でもある。

月盤 六白金星				年盤 八白土星				
南				南				
				五黄殺				
東	5	1	3	西	東	7	3	5
	4	6	8			6	8	1
	9	2	7			2	4	9
北				北				
				暗剣殺				

★神社豆知識

皆さん、「茅の輪漕り(ちのわくぐち)」って知っていますか?

神社では、年に2回(06/30、12/31)「大祓(おおはらえ)」

という行事で行われるイベントの一つです。

神話では茅の輪を腰につけて災厄から免れたとされ、

茅の旺盛な生命力が神秘的な除災の力を有すると考えられてきました。

2010年後半が皆さんにとってより良いものになりますよう、

お祈りいたします♪



大祓(おおはらえ)は、6月と12月の晦日(新暦では6月30日と

12月31日)に行われる除災行事である。犯した罪や穢れを除き去るための祓えの行事で、

6月の大祓を夏越の祓(なごのはらえ)、12月の大祓を年越の祓(としこしのはらえ)という。

6月の大祓は夏越神事、六月祓とも呼んでいる。

なお、「夏越」は「名越」とも表記する。輪くぐり祭とも呼ばれる。

[ウィキペディア から抜粋]

お知らせ

7月31日(土)に WACATE-Magazine vol.20 発行します!(たぶん)

次号の特集は「JaSST 参加レポート!」を予定しています★

来たれ! 投稿戦士!

WACATE-Magazine では「ソフトウェアテストや品質に関する記事」を常に募集中です。

来たれ! 投・稿・戦・士!!!

WACATE-Magazine はボランティアベースで発行されています。したがって原稿料は出ません。※ノーギャラです。

投稿いただいた原稿の掲載可否、掲載時期については編集部で決定させていただきます。

特定の商用ツールやサポートなど営利色が強い原稿は原則として掲載いたしません。

レイアウトなどは全て編集部で行います。また、特に戻り確認などは行いません。

単なる論文は掲載しません。紙面の雰囲気を読んだ、イイ感じな文体や内容をお願いします。

公序良俗に反すると思われるものについても掲載しません。

以上を了解した上で、覚悟完了! の方は WACATE-Magazine 編集部「magazine@wacate.jp」まで、是非ご連絡ください。

折り返し、担当より要綱をご連絡いたします。

楽しい、そして役に立つ紙面にするため、是非ご協力いただければ幸いです♪

☆その他、WACATE-Magazine では以下の情報をお待ちしています☆

- 書籍情報(オススメ書籍情報も可)
- イベント情報(ソフトウェア/品質/テスト関連ならなんでも)
- 勉強会情報(ソフトウェア/品質/テスト関連ならなんでも)
- オフ会情報(ソフトウェア/品質/テスト関連ならなんでも)
- デザート情報(甘いものならなんでも。イカス! やつで。)

などなど、お待ちしております♪

WACATE
Workshop for Accelerating Capable Testing Engineers

来たれ
次世代の
戦士達よ!!!

WACATE実行委員募集中♪

★★★ WACATE 実行委員募集中 ★★★

編集後記

いいんちょ★いよいよ夏が! ビアガーデンの季節!!!

きたー★今 WACATE 2010 夏 糸冬 了! みなさまお疲れさまでした(^-^)/

よえだ★WACATE 2010 夏、お疲れサマー♪

あたい★BPP 受賞できました! 次は半年後の「プレ zen」に向けて準備を進めていきます

コヤマン★参加者や実行委員の熱い想いが伝えられた Magazine になれば幸いです!

きたー★WACATE2010 夏 終わった! はやぶさを見て感動した。

はーい★「JaSST 行く人～」って言われると条件反射で「はーい♪」って言うてしまうらしいw

あらかみ★夏ですなええ♪皆さん、暑さに負けないように、お気を付けてお過ごしください。

★あくづいた★

2010/07/11(sun)はっこ
WACATE-Magazine へんしゅろ

✉ Magazine@wacate.jp
<http://wacate.jp/Magazine/>